



あぜみち

www.ja-shinshinotsu.or.jp/

今月号の主な内容

■ニュース&トピックス

- 鈴木農相が本村訪問米産地の現状伝える
- 収穫の秋到来黄金の田園で稲刈りスタート

■今月の技術情報

- 稲わら処理

■インフォメーション

- ホクレンショップ新しのつ店からのお知らせ



【写真】

人を癒すフラワーアレンジメントに
児童挑戦

新篠津花卉生産組合では9月3日、新篠津小学校理科室にて、3年生児童17名を対象にフラワーアレンジメント教室を開催した。

＝関連記事7面

10

JA **新**の

令和8年10月号
vol. 795

収穫の秋到来黄金の田園で稲刈りスタート

水稻収穫作業開始



稲刈り作業する宮田氏

村内の早いところでは9月3日から黄金に色づいた水田で待望の稲刈りが始まった。
9月11日から収穫作業を開始したのは川上農事組合の宮田秀人氏。収穫を待つかのように頭を垂れる「ななつぼし」を初刈り、昨年より4日程遅い収穫となった。後継者の宮田大輔氏は「かけ流し等の対策で収量の確保と品質の向上に努めた。今年の生育は順調で収量に期待。土壌が乾いているため稲刈り作業がスムーズ」と話した。宮田氏が所有する水稻作付面積は全体で978a。収穫作業は9月23日頃までには完了する見通しとなっている。

高品質調製で選ばれる米産地へ

米乾燥調製施設稼働



本稼働した米乾燥調製施設での受入れ作業の様子

9月16日から本年度の稼働を開始した米乾燥調製施設（ライスファクトリー）では日夜、乾燥・調製作業が行われている。

施設前には、生産者によって水分18%未満にまで一次乾燥された籾を積んだトラックが絶え間なく訪れるなか、時差出荷によるスムーズな受入れ作業が行われており、11月中旬までには全ての受入れ作業を完了する見通し。

今年産の施設利用面積は村内水稻作付面積の約76%にあたる約2,194haとなっており、基幹品種の「ななつぼし」「ゆめぴりか」の他、「えみまる」「まいみさかり」「きらら397」の5品種を約16,000t受入れる予定。

また、本部検査場とライスファクトリーでは、9月下旬から令和8年産米の等級検査を開始。整粒歩合は70%以上、水分は15%以下、被害粒・死米・着色粒等の合計が15%以下で1等品の判定がなされる。

施設全利用とタンパク仕分け徹底で産地形成図る

米乾燥調製施設常任委員会及び運営委員会



施設運営委員に今年度の運営方針について話す長屋組合長

JAでは9月7日、2階大会議室において米乾燥調製施設常任委員会及び運営委員会を開催。同施設運営委員ら37名が出席した。

来週から同施設が本格稼働開始となるにあたり、今年度の同施設運営方針や利用面積、品種別出荷体制と令和8年産米の概算金等について説明した。

施設の運営方針では、搬入品の適期刈取りを励行し、搬入時の持込水分は18%未満とすることや異種穀粒等の混入防止に向けコンバイン、乾燥機、ハードコンテナの清掃作業の徹底を呼び掛けた。受入時間は午前7時から午後5時まで。1日のトラック搬入台数を126台（1時間当たり14台）とした。同施設の利用希望面積は219,412a。品種はゆめぴりか・ななつぼし・そらきりり・えみまる・きらら397の5品種を受入する。

鈴木農相が本村訪問米産地の現状伝える

鈴木憲和農林水産大臣来村



大塚氏（右）からミニトマトの生産について説明を受ける鈴木農林水産大臣

8月24日、鈴木憲和農林水産大臣が江別市で開催された農政懇談会へ登壇する前段に本村を訪問した。

中原農事組合の（有）大塚ファーム（大塚裕樹代表取締役）では、サツマイモやミニトマトの圃場のほか、従業員宿舍や選果場、加工施設を見学。有機農業や六次産業化の取組と課題について意見交換を実施した。

その後、米乾燥調製施設に場所を移し、鈴木農相を当JAの長屋光一代表理事組合長が出迎え、同施設や隣接する倉庫を案内した。鈴木農相は熱心に当JA担当者の話を聞き、意見交換する場面も見受けられた。

全国初の米乾燥調製施設を含めたグローバルGAPの団体認証を取得する同施設は、平成8・9年度一地域農業基盤確立農業構造改善事業」で建設。築後30年を迎える同施設も老朽化に直面している中、北海道の米産地である本村の現状を話せる良い機会となった。

経営の計数管理徹底と税務の円滑適正な遂行で農業の近代化図る

第32回新篠津村農業所得事務連絡協議会通常総代会



総代会で挨拶する吉田会長

新篠津村農業所得事務連絡協議会では8月20日、JA2階大会議室において、第32回通常総代会を開催した。本協議会の吉田忍会長から挨拶の後、来賓には新篠津村の古谷直樹副村長並びに当JAの市川英俊専務理事が出席し、それぞれ祝辞を述べた。議長に第5支部の斉藤誠支部長を選出して総代会は執り行われた。議案には令和7年度事業報告並びに収支決算報告を含む計4件が審議され、全て承認され閉会した。

本協議会の目的は、農業の合理化、近代化を図るため、農業の企業体的質の強化に努め、経営の計数管理の徹底と合わせて、税務の円滑適正な遂行を期するとともに農業の発展に寄与するものとしている。

令和8年度の税務研修会では、来年4月から引き下げる方針が閣議決定された飲食料品の消費税率への対応などを予定している。

高齢化・労働力不足問題の解消に繋げる

スマート農業実演会



高速ロータリーを体験試乗する様子

新篠津村ICT農業研究会と水稻直播研究会は8月26日、両研究会共催による「スマート農業実演会」を村内で開催。生産者や農業機械メーカー等約80名が参加した。

この実演会は、農業現場におけるスマート農業の活用法を紹介し、農作業の負担軽減や省力化の普及推進を目的に開催された。農業機械メーカー9社から9機の農業機械や3機のドローンが展示され実演も行われた。

実演会の開会にあたり、新篠津村ICT農業研究会の高橋一志会長は「これだけのメーカーと機械が一同に揃うことはなかなか無く、実際に体験試乗が出来る農機が並んでいるので、是非ともこの貴重な機会に多くの農機に触れてみて下さい」と挨拶。実演会には自動操舵システムを搭載したトラクターや農業ドローンのほか、GNSSレベラー、溝堀機、浅耕プラウ、スタブルカルチなど各種作業機が紹介された。

参加者らは、最新鋭の農業機器に終始興味津々の様子だった。

人気店舗前で子ども縁日&とれたて野菜販売で村PR

JA青年部サンドリア屯田店合同イベント



盟友らの威勢の良い声につられ売れ行き好調だったブロッコリー

JA青年部は8月21日、札幌市のサンドイッチ工房サンドリア屯田店にて販売イベントを実施した。

この日はサンドリア屯田店との合同イベント。同店は「夏まつり」と題し、子ども縁日やかき氷、ホットスナックなどを提供した。イベントには盟友12名で対応。新篠津産ななつぼし(イエスクリーン米)、にんにく、玉葱、ブロッコリー、人参、ズッキーニ、米なす等が並び終日大盛況となった。JA北いしかり青年部からも2名の盟友が加わり、とうもろこしやミニトマトを販売した。

青年部は同店での新米販売イベントも今秋に予定しており、本村農産物の更なるPRを活発に実行して行きたいと意欲を見せていた。

盟友の結晶オリジナルサンドイッチお披露目実現

JA青年部&サンドリア「新しのつサンド」完成



ボリューム・食べ応え共に満点の「新しのつサンド」

JA青年部では8月29日、第47回新しのつ青空まつり「あぐりふえすた」にて同部員らで収穫したシャドークイーンを札幌市のサンドイッチ工房サンドリア屯田店が調理して完成した「新しのつサンド」が限定販売され、地元村民にお披露目された。

新篠津産のシャドークイーンを使用した「新しのつサンド」は、レタスとベーコン、シャドークイーンのポテトサラダを緑と紫のパンでサンド。ボリューム、食べ応え共に満点の一品。サンドリア屯田店からキッチンカーで「あぐりふえすた」に出店し、当日は同店のオリジナルメニューと「新しのつサンド」併せて400個のサンドイッチが2時間足らずで見事完売した。

5月の定植から始まり収穫して調理。見事に完成し販売され購入者から「美味しい」と言ってもうらえた瞬間、部員らの誇らしい充実した笑顔が輝いた。

互いを知り円滑なコミュニケーションで理解を深める

JA青年部農協若手職員との懇親会



白熱したボーリング大会の様子

JA青年部では8月26日、岩見沢市にて農協若手職員との懇親会を実施。農協若手職員21名、盟友32名が参加し、ボーリング大会と焼肉で親睦を深めた。

ボーリング大会は4人1組で9レーンに分かれて実施し、2ゲームの合計スコアで競った。農協職員と青年部員が混合した9チームは、同年代ともあつて一瞬で溶け込み、各レーンから歓声が終始響いていた。

ボーリング大会終了後、場所を焼肉店へ移動。表彰式を行い、青年部から景品が手渡された。食事しながら懇親を深めていく職員と青年部員は、互いを理解し合い、より良い連携を構築するため貴重な時間を共有した。

「あぐりふえすた」今年も盛大に開催

第47回新しのつ青空まつり「あぐりふえすた」



踊りパレード集合写真



お楽しみ抽選会



青年部農産物即売コーナー

最後に市川英俊専務理事が閉会挨拶し、今年の「あぐりふえすた」を無事にやり遂げ、五穀豊穡に期待する秋が来ることを祈願した。

会場ステージでは、おこめちゃんクイズのほか、有波俊明青年部長と市川真紀女性部長が抽選を行ったお楽しみ抽選会が催され、多種多様な景品に会場は大いに盛り上がっていた。

青年部は農産物即売コーナーを設置し、新鮮な野菜や米を販売した。また、同部が交流している大人気店サンドイッチ工房サンドリアを招き、同部員が収穫したシャドークイーンを使用したコラボ商品「新しのつサンド」の地元での販売を実現した。

この「あぐりふえすた」は、穏やかな純農村地帯の雰囲気を楽しみながら、旬な農産物を味わい、消費者との交流を深めることを目的に行われている。お楽しみ抽選券付き飲食チケット（1セット／2,000円）は、味付けラム肉と各種野菜、ご飯（ななつぼし）がセットとなっており、来場者は冷たい生ビールにジンギスカン、新鮮な野菜を堪能していた。

JAでは8月29日に新篠津村自治センター南側芝生コーナーにて、第47回新しのつ青空まつり「あぐりふえすた」を開催した。会場内は、地域住民や近隣の市や町から数多くの人々が訪れ、大いに賑わっていた。

JA青年部では「グリーンツーリズムしんのつ」の食農教育事業として9月1日、ファームビジット（日帰り農業体験）で桜丘高等学校（東京都）の生徒19名を受入れ、同部の役員8名で対応した。正午、当JA試験圃場前に生徒を乗せたバスが到着。出合いの集いの中で「グリーンツーリズムしんのつ」の北野亨会長は「今日、受け入れてくれるのは若手農家達です。どういう思いで農作物を作り、届けているのかを知って下さい」と話した。

生徒を5つの班に分け、にんにくの種割り作業体験や玉葱の選果作業を見学。ブロッコリー畑では、生徒自らの手で収穫を体験した。最後に米乾燥調製施設と倉庫を見学してファームビジットの全行程を無事に終了した。

生徒らがバスに乗り別れ際の場面では、窓越しに互いに手を振り続けた。心を解放した生徒達の笑顔に充実感がみなぎり、青年部員らはあつという間に過ぎ去った時間を振り返っていた。

笑顔に充実感ファームビジットが生徒の心を解放

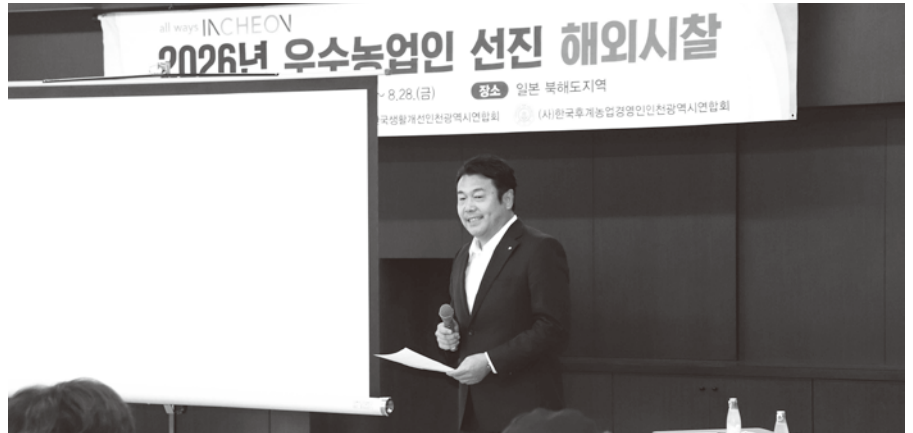
JA青年部ファームビジット受入れ



にんにくの種割り作業を体験する桜丘高等学校の生徒ら

隣国の視察団受入れ北海道農業に興味示す

韓国農村指導者仁川広域市連合会農業視察



韓国視察団に歓迎挨拶する長屋組合長

JAでは8月27日、当JA2階大会議室にて韓国農村指導者仁川広域市連合会の視察団、総勢55名を受入れた。同視察団は日本での視察を3回程実施しているが、北海道での視察は初の試み。長屋光一代表理事組合長による歓迎挨拶の中で本村農業の概要説明の後、日下部行夫常務理事から本村の水稲生産について説明した。質疑応答の場面では、韓国でも米の消費は減少している話し、病害虫対策などに関心を示していた。その後、米乾燥調製施設と隣接する低温倉庫や水稲圃場を熱心に視察した。視察団の代表者は「今回の視察で学んだことを韓国農業に取り入れて行きたい」と話した。

適正価格水準堅持と生産者還元の両立掲げる

新篠津村米麦改良協会定期総会



開会挨拶する長屋会長（右）

新篠津村米麦改良協会では9月4日、JA2階大会議室において本年度の定期総会を開催。事務局含む21名が出席した。本協議会の会長である当JAの長屋光一代表理事組合長は「今年は米・麦・豆ともに作柄が良い。米の概算金については厳しい数字となっているが政府備蓄米の早期買戻しに期待する」と挨拶した。総会は令和7年度事業報告並びに収支決算報告、令和8年度事業計画並びに収支予算案など計4件について議案審議し、全案が承認された。令和8年度の事業方針には、近年の生産資材費の高騰に加え、中東情勢の悪化等により農業を取り巻く環境の不透明さから、従来にも増して持続可能な生産・消費体制を盤石化することが不可欠とし、確収技術の実装をはじめとする安定供給や需要者との相互信頼に基づく再投資可能な適正価格水準の堅持と生産者還元を両立する必要性を掲げた。

春に続き「出向く体制」強化現場で生の声伺う

第2回地区専任制巡回



組合員に聞き取りする当JA営農部の向係長（右）

JAでは9月1日から9日までの7日間、収穫に向け組合員が作業等の準備をしているなか、出向く体制の一環として、4月に続き今年2回目となる地区専任制巡回を実施した。今回の巡回では主に水稲・豆類の生育状況並びに小麦の収量やドローンの使用状況などの聞き取りのほか、経営主はもとより、配偶者や後継者とのコミュニケーションを図ることを目的に行われた。当JA営農部が中心となり、7班集体で巡回を実施。JAに対する意見や要望などの話も伺った。令和8年産米の概算金が大幅に下がるなか、生産者からは次年度の営農への心配や資材高騰対策を求める声が多数聞かれた。JAとしても輸出入米の取組拡大など、今後の需要に応じた生産へ向けて組合員への発信を強化していく考えである。

人を癒すフラワーアレンジメントに児童挑戦

新篠津花卉生産組合



贈る人を思いながらデザインする児童ら

新篠津花卉生産組合では9月3日、新篠津小学校理科室にて、3年生児童17名を対象にフラワーアレンジメント教室を開催した。

この取組は、花育事業の一環として行われ、地場産の花を教材に使用することで、子どもの心を豊かにすると共に、村の基幹産業である農業への理解を深めることを目的に、平成24年から毎年行われている。

授業の始めに窪田隆浩組合長から「今日は世界で1つだけの花を作ります。クイズも行いますので皆さんの声を聞かせて下さい」と挨拶した。

授業では花に関するクイズで、村内のアルストロメリアの出荷量や面積、品種数と花びらの枚数などの問題に児童は元気よく手を上げていた。フラワーアレンジメントの基本的なバランスの取り方やばさみの使い方、花の剪定方法をレクチャーして作業に入った。

3年生児童はこの日、用意されたアルストロメリア6種類、ユリ、カスミ草、トルコキキョウ、シヌアータ、ヤマゴボウそれぞれ1種類で合計11種類の色とりどりの花の中から好きなものを3本手に取った。贈る人を思いながら、牛乳パックの中のオアシスに丁寧に花を挿し、最後にメッセルカラードを添えて見事に完成した。

充実の視察研修旅行で懇親深まる

JA女性部日帰り視察研修旅行



札幌市水道記念館での集合写真

JA女性部では9月2日、令和8年度の日帰り視察研修旅行を実施した。

研修先は札幌方面。貸し切りバスにて出発した一行は、雪印メグミルク札幌工場を視察した。昼食ではANAクラウンプラザホテル札幌でワンプレートランチを味わった。お買い物で「KITAKAROL」に立ち寄り、札幌市水道記念館を見学した。その後、札幌もいわ山ロープウェイや酒舗七蔵「津畑商店」を訪れ、夕食は札幌プリンスホテルにてディナービュッフェを堪能して研修旅行全行程を終了し帰路に着いた。

今年度の日帰り視察研修旅行には、事務局含め34名が参加した。これからの女性部活動に意欲を沸かせる充実した視察研修旅行となった。

村恒例駅伝大会で年配組意地見せる

第57回村内一周駅伝競走大会

見事走り切った
JA新しのつ駅伝チームのメンバー

JAは9月5日、第57回村内一周駅伝競走大会（新篠津村陸上競技協会主催）に出場した。当日の午後1時現在は快晴、気温24℃で昨年よりは涼しい天候となった。

今年も昨年と同じ北コース（全5区間合計23.12km）で行われ、全16チームが参加。当JAからはヤングチームとアダルトチームの2チーム体制で大会に挑んだ。

当JAの2チームは、第1区でヤングチームが4位、アダルトチームが7位で襷を繋ぐ。第2区ではヤングチームが11位に後退したが、アダルトチームは7位を維持した。第3区は北コース中で最長距離の5.72km。持久力勝負の見せどころでヤングチームが9位に上昇。アダルトチームも5位まで順位を上げた。第4区、両チームともに1つ順位を下げ、ヤングチームが10位、アダルトチームは6位でそれぞれアンカーへ最後の襷を渡した。最終第5区、ヤングチームもアダルトチームも走り抜き、順位をそのまま維持して無事ゴールにたどり着いた。

アダルトチームは全体の6位という見事な結果で幕を閉めた。来年はヤングチームの巻き返しに期待したい。

「多くのご声援を頂き、誠にありがとうございました」（選手一同）

道内先行事例普及地域に根ざした電力供給体制構築

JAでんき事業意見交換会



意見交換会で挨拶する坏センター長（左から4人目）

JAでは9月3日、当JA2階研修室にて（株）新函館協同各事業所長とホクレン函館支所農機燃料自動車課等のJAでんき事業視察を受入れた。当日は22名が来組し、当JAからは機械センターの坏清久センター長と同センター給油所の杉本佳子所長ら4名で対応した。

坏センター長から当JAの概況やでんき事業に係る取組状況等について説明。同事業は今年で2年目を迎え、当初獲得契約目標の450契約が現在では603契約までに達したと話した。出席者からはJAでんきの推進方法やCIS入力で発生したトラブルなど推進上の注意点について質問が上がった。

杉本所長は「単に契約件数を増やすだけではなくJAと組合員、地域の皆さんとの接点を増やす取組でもある。自分の言葉で説明すると共に、お客様にJAでんきの良さを伝え、更に推進して行きたい」と話した。

安全で快適な職場形成目指し労働災害防止へ

JA新しのつ労働安全大会

新しのつ労働安全大会



「労働安全宣言」を読み上げる農産園芸課の黒担当

JAでは9月2日、JA2階大会議室で労働安全大会を開催。役職員ら68名が出席した。

この大会は、本格的な収穫期を迎え、米乾燥調製施設「ライスファクトリー」などの施設稼働のピークを前に、JA職員の安全作業に対する意識を高め、労働災害防止を図ることや健康な職場づくりを目的に毎年行われている。

講演の第1部では講師に（株）青山プロダクションの青山夕香氏を招いて「右脳左脳バランス脳、あなたはどれ？自分も相手も理解できる『脳の仕組み』と題して講義を受けた。右脳派は「発想力・共感力」でチームに貢献、左脳派は「正確性・分析力」でチームを支える」と話した。

続いて、第2部の講師には、当JA農産部の本吉智治農産園芸課長が「米乾燥調製施設の安全管理について」と題し、安全のための労務管理や製品事故を未然に防ぐための管理を呼びかけ、全職員の意思統一を図った。

大会の最後には、当JA農産部農産園芸課米麦係の小黒理恵担当が「労働安全宣言」を読み上げ、出席者全員で安全作業の実践を誓った。

防災意識向上で被害の軽減を図る

JA新しのつ火災訓練



消火器を持ち初期消火訓練する職員

JAでは9月8日、当JA事務所で火災訓練を実施した。

この火災訓練には、JA役職員と新篠津土地改良区の職員が参加。火災通報・初期消火・避難誘導を想定した訓練を行うことで、火災による被害を最小限に留めると共に、防災に対する意識の向上と防災管理体制の確立を図ることを目的としている。

出火現場を事務所2階喫煙所と想定。初期消火担当者が近くの消火器を持ち現場へ向かい、第1発見者は非常通報装置を発報、通報連絡担当者は出火現場に行き、携帯電話にて通報した。同時に避難誘導担当者がお客様や職員を避難経路図に従い、事務所正面駐車場へ避難誘導。応急救護担当者は負傷者がいないか確認するなど火災発生時の対応を訓練した。

当JAでは「訓練を定期的に行い、いざという時に冷静な行動ができるよう鍛錬していきたい」と話している。

皆様に日頃の感謝をこめて

秋の大感謝祭!!

たまご プレゼント!

10/8^木~9^金

ポイント会員限定!



ガソリン・軽油

5円/ℓ引き!

さらに!

次回来店給油でもらえる

「またくる券」プレゼント!

引換期間中(10/10~10/31)「またくる券」を
ご持参の上、店頭でガソリン・軽油を2,500円(税込)
以上給油したレシートをご提示の方に

「新篠津産たまねぎ」を差し上げます。

Lサイズ2玉



※無くなり次第終了とさせていただきます。
※写真はイメージです。

期間中、ガソリン・軽油
2ℓ 給油毎に

たまご1個
プレゼント!

同乗のお子様(小学生以下)
にはお菓子プレゼント!



さらにさらに!!

ウォッシャー液

50円引き割引券
プレゼント!!

(期間10/8~12月末)



JA新しのつ ホクレン新篠津給油所

石狩郡新篠津村第47線北12番地

☎ 0126-57-2810

営業時間 午前7時00分~午後7時00分

SUN&GREEN
しんのつ

特殊詐欺被害防止に向けた ATM 利用限度額の変更の お知らせ

お客さま各位

新篠津村農業協同組合

平素より当組合をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当組合では、社会的に深刻な問題となっている特殊詐欺の発生状況を受け、お客さまが安心してキャッシュカードなどをご利用いただけるよう、被害の発生・拡大を防ぐ対策に取り組んでおります。

このたび、ATM においてお客さまの貯金が不正に払い出される特殊詐欺の犯罪が増加していることを受けて、令和 8 年 9 月 30 日（水）に、キャッシュカードなどによる取引時の 1 日あたりの利用限度額を以下の通り引下げいたします。

媒体種別	対象取引 *1)	変更前	変更後
IC キャッシュカード	IC 取引	100 万円	50 万円 *2)
磁気ストライプ キャッシュカード	磁気取引	50 万円	50 万円

*1) ATM および窓口（ピンパッド）でのお引出し、振込等が対象となります。

*2) あらかじめ設定されている利用限度額から変更されている場合は変更対象外となります。

お客さまにはご不便をおかけいたしますが、警察庁からの要請も踏まえた対応であり、ご理解賜りたくお願いいたします。

秋

スタッドレス・小農具展示会

ご来場お待ちしております！

【イベント情報】

☑ 日程：2026年10月16日（金）

🕒 時間：9:00～15:00

📍 会場：機械センター工場内

【タイヤキャンペーン】

- メーカー
- ・ブリヂストン
- ・ダンロップ
- ・ヨコハマタイヤ



☑ 最新モデル展示

☑ 展示会特価

☑ スタッフによる
相談コーナー

BRIDGESTONE

DUNLOP

YOKOHAMA

【小農具展示】

買い忘れた工具・部品・
などなどありませんか？



・ロータリーブレード年内予約
特価価格（R9年2月納品分）

・電動工具など

展示会
限定価格！



新篠津村農業協同組合 機械センター
お問い合わせ ☎0126-35-7126

【水 稲】

1 稲わら処理

◆ ほ場外への搬出または秋すき込みの実施

春のすき込みは、ワキの原因にもなりメリットがありません。収穫後の稲わらは、搬出または速やかに秋すき込みを行い、分解を促進しましょう。最も良い処理方法は、『ほ場外へ搬出し堆肥化させ、ほ場に還元すること』です。搬出できない場合は、腐熟を促進するために窒素肥料等を散布し、秋のうちにすき込みましょう。翌春の代かき時に浮いてくる稲わらが減少し、ゴミ上げ作業の軽減につながります。

【稲わらの秋すき込み方法例】

- ①収穫後、「尿素 10 kg/10a+粒状ケイカル 20 kg/10a」または「石灰窒素」20 kg/10a を散布する。
- ②ロータリーで浅く（耕深 5～10cm）混和します。

2 水田の透排水性改善

近年、作業機の大型化が進み、踏圧で透排水性が悪化する傾向にあります。透排水性の改善によって、ほ場が乾きやすくなり、春期の耕起作業等が効率的に実施できるだけでなく、図 1 に示すとおり、地温の上昇と乾土効果による地力窒素の早期無機化も進むため、初期生育の向上が期待できます。



図 1 透排水改善が与える効果

◆ 心土破碎の施工

ほ場が乾いているときに、ゆっくり（早歩き程度）と、既設暗きょ管を傷めない深さ（40cm 程度）で行いましょう。暗きょと交わるように行くと排水効果が高まります。水田の幅が 25m 以下であれば暗きょに対して斜めに、25m 以上であれば垂直に行いましょう（図 2 参照）。

◆ 溝切りの施工

秋期の降雨や春期の融雪水をスムーズに排水するために、ほ場表面の溝切りが効果的です。コンバインの走行跡の滞水など水が溜まる場所は部分的に溝を切り明きょや落水口につながしましょう（図 3 参照）

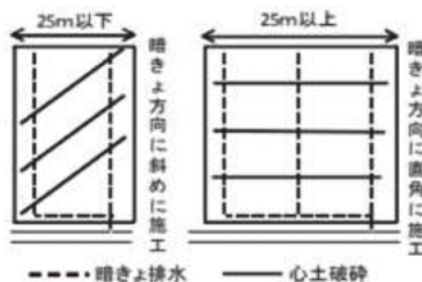


図 2 心土破碎の施工方法

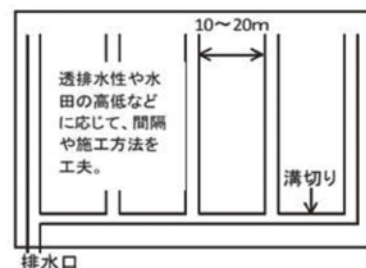


図 3 溝切りの施工方法

【畑作】 ※農薬の登録内容は令和8年9月11日現在の表示です。

1 秋まき小麦

(1) 雪腐病の防除を実施しましょう

- ・表1を参考に、適期防除を実施しましょう。
- ・無人航空機による雪腐病の薬剤や、フロンサイドSC等の使用で、なまぐさ黒穂病の同時防除も可能です。
- ・雪腐病の防除は根雪直前の散布が最も効果的ですが、散布後降雨（根雪までの積算で85mm～150mm以上）があった場合や、根雪までの期間が長過ぎた場合は、使用基準内で再散布しましょう。
- ・大豆間作の場合は、大豆収穫後に実施（大豆に未登録のため）しましょう。

(2) なまぐさ黒穂病について

- ・かびによる病害で、最も特徴的な症状は穂に現れ、黒穂症状となり、さらに「なまぐさいにおい」を發します。
- ・多くの場合、4月下旬～5月中旬ころから葉に黄化症状が見られます。
- ・発病穂は健全穂に比べ草丈が半分程度と短くなるのが特徴です。
- ・適期は種、適切な種深度による耕種的防除が効果的です。

表1 雪腐病およびなまぐさ黒穂病の登録薬剤一覧

使用時期	処理方法	薬剤名	系統	倍率	指導参考事項該当病害名					
					紅色雪腐病	黒色小粒菌核病	褐色小粒菌核病	褐色雪腐病	大粒菌核病	なまぐさ黒穂病
根雪前	茎葉散布	フロンサイドSC	他合成	1000	●	●	●		●	●
		ランマンFL	QiI	1,000				●		
		シルバキュアFL	DMI	1000～2000		●	●			
		トップジンM水和剤	MBC	2000					●	
		チルト乳剤25	DMI	750	○	●	○			●
	無人航空機散布	フロンサイドSKY	他合成	8	●	●	●		●	●
		ランマンFL	QiI	8				●		
		シルバキュアFL	DMI	16		●	●			
		トップジンM水和剤	MBC	16					●	

※●指導参考あり、○指導参考なし

2 大豆

(1) コンバイン収穫での留意点について

① 収穫前の準備

コンバイン収穫では、汚粒発生の原因となる雑草やわい化病株の抜き取りを事前に済ませておくことが重要です。

② 適期収穫で汚粒および腐敗粒による品質低下の防止

大豆は収穫が遅れると、降雨や湿気の影響を受けやすくなり、「ぬめり」の発生、汚粒や腐敗粒が増加しやすい傾向があり、大豆の品質低下を招きます。

したがって、適期に収穫し、収穫後も適切に乾燥・保管することが重要です。
コンバイン収穫適期は、茎水分50%以下、子実水分15～18%程度の成熟期2週間後を目安としてください。

③ 刈り取り時の収穫損失を減らすために

刈り取りの高さは通常7～8cmで行います。刈り高さ12cm程度の高刈りは損失や汚粒を見ながら行ってください。また、刈り高さが低すぎると、土砂の混入により汚粒になるので注意しましょう。

刈取損失や脱穀選別損失は、作業速度が高まるにつれて増加するため、作業速度は時速3km程度を目安としてください。

～ 休憩をとり、ゆとりをもって農作業事故に注意しましょう ～

令和8年度 第8回 理事会 令和8年9月14日(月)

報告事項

- ① 財務状況報告(8月末)について
- ② 組合員の脱退について
- ③ 寒冷地手当の支給について
- ④ 内部監査室監査の実施結果について
- ⑤ 経営定期点検の実施結果について
- ⑥ 5,000万円超の信用の供与等に係る貸付実行について
- ⑦ 理事に対する資金の貸付実行について
- ⑧ 保管業務状況(8月末)について
- ⑨ 令和8年度野菜・花卉の出荷状況について
- ⑩ 小麦パラ施設受入状況及び検査実績について
- ⑪ 令和8年度米概算金について
- ⑫ 各部専門委員会の開催について
- ⑬ 常勤役員の動静について

付議事項

- ① 令和8年度上半期自治監査の実施結果について
- ② 組合員の出資持ち分譲渡について
- ③ 5,000万円超の信用の供与等の決定について
- ④ 「上半期ディスクロージャー誌」について
- ⑤ 当組合における「取引のリスク評価書」の改正について
- ⑥ 特定組合員の営農計画変更について
- ⑦ 助成金の支出について
- ⑧ 令和8年度産米に係る費用の徴収について
- ⑨ 固定資産の取得について
- ⑩ 金融店舗のシャッター開閉時間について
- ⑪ 共済規程の一部変更について

その他

※上記の事項について報告、承認されました。

令和9年度入学生第2回募集

JAへの就職希望者100%就職内定(令和7年度実績)

- 定員40名 ●男女共学 ●1力年 ●寮完備(個室)/通学可
- 受験資格:満27歳未満(令和8年4月1日現在)/高等学校・専門学校・短期大学・大学卒業または卒業見込みの方 ●試験日:令和8年12月5日(土)
- 願書受付:令和8年9月24日(木)~11月20日(金)消印有効
- オープンキャンパス随時開催中



JAグループ職員養成校 一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
TEL 0120-918-417 JAカレッジ 検索

我が家の記録

～農業経営に必携!この1冊～

【2027年～2029年版】農業経営者の悩みを解消!!
3年間の営農の歴史が一目で分かる!

- ◎3カ年の農作業・天候等を一覧で記録! **価格 2,000円(税別)**
- ◎3カ年の経営成果もわかりやすく記録! ※3カ年のみの販売となります
- ◎営農計画書の樹立に必要な資料も豊富! **必携!この1冊**

ご予約・ご注文はJA営農企画課(TEL57-2311)まで

農業用廃プラ回収のお知らせ

JA・青年部では下記の日程で農業用廃プラの回収を行います。
お近くの青年部盟友が回収しますので、処分希望の方はJAまで、種類(農ビ・農ポリ等)、重量を報告願います。

記

回収日時: 令和8年10月28日(水) 午前9時～
回収対象: 農ビ・農ポリ・育苗箱・農薬空ボトル
処理料金: 1kg 当たり60円(税込)

※ゴム類・発泡スチロールは回収できません。 ※回収品には、荷札等で氏名、重量、種類を必ず明記して下さい。
※500ℓ密閉タンクや水槽など大型の物については、細かく切ったりして下さい。

分ければ資源、
まぜればゴミ。
リサイクルで循環型社会
を作りましょう。

問合せ先

営農部営農企画課
TEL:35-7094
FAX:58-3172

ホクレンショップ 新しのつ店からのお知らせ

冬季営業時間について

令和8年10月1日(木)から
令和9年3月31日(水)まで
開店時間9時30分
閉店時間18時とさせていただきます。

皆様のお越しをお待ちしております。

家の光図書 ～2026年10月の新刊～

※貸し出しを行っていますので、詳しくは、
営農企画課までご連絡下さい。



知識ゼロからのGAP入門
人が育ち、経営がラクになる農業の
仕組み

佐久間輝仁 著 A5判・208頁
本体:1700円(+税)

GAP(農業生産工程管理)とは何か、一見難しそうなテーマを豊富な図解や事例を交えて、わかりやすく紹介。農業経営のヒントやGAP実践のポイントに加え、GAP認証取得のメリットや手順も学べる一冊です。



生きる力が湧いてくる!
鎌田式 脳トレなぞり書き

鎌田實 著 B5判・128頁
本体:1300円(+税)

人気医師である鎌田實先生直々の力強いメッセージをなぞり書きしながら、脳と心を元気にする一冊。前向きに生きるための言葉の数々をなぞることで、人生の見方が変わり、毎日がもっとおもしろくなっていきます。



さっくり、軽やか 至福の米粉クッキー
混ぜて焼くだけの簡単レシピ

今井ようこ 著 B5変型判・80頁
本体:1700円(+税)

小麦粉、卵、乳製品、白砂糖を使わないのに、コクや甘み、素材の香りをしっかりと感じられます。混ぜすぎる失敗もなく、難しいバター扱いも不要。さらに生地作り方はすべて同じなので初心者にも最適です。



材料2つ。なのになんと薬膳
食材の効果を引き出す体にいい
組み合わせ

山田奈美 著 B5判・96頁
本体:1600円(+税)

メイン食材2つでも、ちゃんと薬膳が作れる!食材の性質を生かした組み合わせで、効果を高めたり、補ったり、バランスをとったり。少ない材料で、下ごしらえも調理も簡単。この1冊で体がしっかり整います。



川下
亀田 茉優 さん

父：直樹 母：聖美
趣味：ピアノ
シール集め

わが家のヒーローは、お母さんです。なぜかというと、いつもお母さんが家事とかおいしいご飯を作ったりしてくるからわが家のヒーローです。

な、かまど文芸

鬼灯を吹き鳴らしつつ家路かな
栗の木や下で賑わう穀痛し
児拾うや数多の木の实抱えたり
現人の生ける明かしに西瓜食む
紅葉の色あざやかき山を染め
買い物は足に聞いてよ秋の空
街灯に影の長引く秋の暮れ
打ち寄せる波音白き秋の暮れ
秋冷や一枚多く羽織たり
心地よき夜風もやがて夜半の秋
夜の帳焚火に諸のふた昔
三日月や母と娘の影ほのかなり

俳句・川柳サロン

天高し続く値上げに嘆くかな
彼岸花考妣告げる米寿かな
神妙に膝疲れたと敬老日
幸せを拾い集めし卒寿かな
出来秋や満ちし笑顔の農夫かな

小原 博
佐藤 千佳
浅田 緑
木村 良磨
萩生田 敏昭
水島 キミ
石若 ひとみ
長谷川 美智子
田中 美智子
波多野 和歌
永森 勇
吉田 修二

みどり
いさむ
わか
きみ
ひろし

みんなの伝言板



川中 あんな (札幌市/7歳)

大好きな新篠津におねえちゃんと遊びに来たところを書きました。



山内 健詩 (中原/9歳)

ぼくは、お母さんの好きなビールをかきました。ぼくも、大人になったらビールのめるかな～？



小沢 由香 (岩見沢市/32歳)



東 大輔 (武田/16歳)

JJK 展楽しかったです。



佐藤 信子 (南ヶ丘/82歳)

髪の毛全部書けなくなっていました。新聞に出ていた女性エンジニア、1部です。



小柳 明子 (ふらわ/51歳)

キテレツの中村嶺亜さんを描きました。タキシードがかわいかったです！

編集後記

今月号では青年部が活躍する関連記事を多く掲載することが出来ました。食農教育事業でのファームビジット受入れや農協若手職員との懇親会、村外では札幌市のサンドイッチ工房サンドリア屯田店での合同イベント。そして遂に同店で調理された「新しのつサンド」を「あぐりふえすた」で地元の皆様にお見せ出来き、食べて頂けたこと。自分達の声で「新しのつサンド如何ですか」と言えたこと。美味しかったし何より嬉しかった。その瞬間をレンズ越しに見ていると熱い感情が湧いてきた。たった一人の発想から始まり、それに応えようとする人がいて達成する「実現」という瞬間の裏側には誰かの心意気が存在する。その人を突き動かした要因は絆や友情といった【情】ある心。それは受けて応えることでより重厚な信用や信頼へと進化する。だが、これだけは人へは引き継げない。だからこそ自分もそれを磨き続けなければならないのだと改めて気付かされた。

お便りイラストを募集しています

食や農業、地域の話など、日ごろ感じていることを折込みはがきでお便りください。採用された方には謝礼をお送りします。また、カラーイラストや写真もお待ちしております。

あて先と
お問い合わせ先

〒068-1193 石狩郡新篠津村第47線北13番地
JA新しのつ営農部営農企画課
TEL:0126-57-2311
E-mail:iwaimasami@shinshinotsu.ja-hokkaido.gr.jp

※JA金融店舗ATMとホクレンショップに応募箱があります。

発行/新篠津村農業協同組合 編集/営農部営農企画課
住所/〒068-1193 石狩郡新篠津村第47線北13番地
電話/0126(57)2311(代表) ホームページ/ <http://www.ja-shinshinotsu.or.jp/>
印刷/弘文社印刷(株) 岩見沢市5条東11丁目
この『あぜみち』は環境にやさしい道産間伐材配合紙を使用しています。